



企画展

## アンニュイの小部屋

アルフォンス・ミュシャと宇野亞喜良

2022年4月9日（土）～2022年7月31日（日）

桜が散ったら、雨が続いたら、  
小さな美術館で“アンニュイ”に酔いしれませんか？

- 〔 本展の特徴 〕
- ① **ミュシャと宇野亞喜良**、両者の作品の数々が一堂に会する**初めての展覧会**です。時代は違えど、グラフィックの分野で女性や少女を題材に独自の世界観を生み出す2人のアーティストの美意識に触れられます。
  - ② 優美で華やかとされるミュシャの女性像に見え隠れする“憂いの表情”に注目。宇野亞喜良の少女像とともに、その“**アンニュイ**”な**魅力**にせまります。
  - ③ 大阪モード学園とのコラボレーションで、学生によるアンニュイなファッション・ヘアメイク作品の展示も実施。また、堺市内のローソファ専門店との連携により、アンニュイ・ポーズで作品鑑賞を楽しめるコーナーも！

展覧会名 企画展「アンニュイの小部屋 アルフォンス・ミュシャと宇野亞喜良」

会期 前期：2022年4月9日(土)から2022年6月5日(日)まで  
後期：2022年6月9日(木)から2022年7月31日(日)まで

会場 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

開館時間 午前9時30分から午後5時15分(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（5月6日、7月19日）、  
展示替臨時休館日（6月7日・8日）

観覧料 一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円)  
\* ( )は20人以上100人未満の団体料金

主催 公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館

後援 在堺チェコ共和国名誉領事館

協力 刈谷市美術館、学校法人 日本教育財団 大阪モード学園、ローソファ専門店 HAREM

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：高原、原田、川口  
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館  
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116  
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶



## 展示概要

桜が散ったら、雨が続いたら、  
小さな美術館で“アンニュイ”に酔いしれませんか？

アルフォンス・ミュシャの才能が花ひらいた19世紀末のパリ。ベル・エポック（良き時代）と回顧される都市文化の華やぎの一方で、文学・美術の世界には妖しく頹廢的な雰囲気も漂っていました。ミュシャが描いた女性たちは、優美な微笑みを浮かべながらも、どこか物憂げな遠い目をしています。

本展では代表的な装飾パネルを中心に、ミュシャ作品の華麗さに見え隠れする憂いの表情に注目します。

さらに、少女像と幻想的な世界観で知られる宇野亞喜良の作品を刈谷市美術館より特別出品。ミュシャが描く1900年頃の女性と少女、そして宇野が1960-70年代に描いた少女が醸し出す“アンニュイ”の魅力にせまります。

アンニュイ【仏：ennui】

物憂さ、気だるさなどの気分、あるいは雰囲気。原義は「退屈」だが、日本語においては「夢げ」「神秘的」など独特の前向きなニュアンスを含む。

宇野亞喜良（うのあきら）

イラストレーター、グラフィックデザイナー

1934年愛知県名古屋市生まれ。商業デザイナーとして企業広告やポスター、挿画を手がけるなか、1964年には横尾忠則や和田誠とともに「東京イラストレーターズ・クラブ」を設立。日本における〈イラストレーター〉の先駆者として、半世紀以上にわたり常に第一線で、幅広い表現活動を行っている。2010年には愛知県の刈谷市美術館で大規模な全貌展が開催された。

## 関連企画

Relation projects. 1

## 「アンニュイの小部屋」展×大阪モード学園

大阪モード学園の学生とのコラボレーションを実施。ミュシャの作品に漂うアンニュイな雰囲気から着想を得た、ファッション・ヘアメイク作品を展示します。



Relation projects. 2

## 「アンニュイの小部屋」展×ローソファ専門店 HAREM

会期中、堺市のローソファ専門店HAREMのソファを展示室に設置。アンニュイな姿勢でゆったりと作品鑑賞を味わえます。

※その他、関連イベントの実施を予定しております。詳しくはHPをご覧ください。

同時開催  
シリーズ展

ミュシャを実験的なまなざしで紹介する年間シリーズ展  
「ミュシャLabo」が始動します。

## ミュシャ Labo #01 「絵⇔写真」

第1弾のテーマは「写真」。ミュシャ作品の裏側にある、写真を活用した制作プロセスに焦点を当てます。さらに、古典写真作家・若林久未来がミュシャを題材に完全手作業で仕上げた新作をご紹介します。古典的な写真技法（ヴァンダイクプリント）、また古典とデジタルを融合させたオリジナル技法によってミュシャ作品に新たな息吹を吹き込んだ、Classical photograph®の世界をご堪能ください。



若林久未来 Renaissance: Sarah Bernhardt  
2022 ヴァンダイクプリント、純金箔



〔 広報用 〕 以下の広報用画像および本展ポスター・チラシ（表）画像を、プレス掲載用にご用意しました。FAXまたはメールでお申込みください。

○FAXでのお申込み

次ページの<画像利用申込書>をご記入の上お送りください。

○メールでのお申込み（メール：much@sakai-bunshin.com）

上記アドレスにご連絡下さい。追って、申込フォームを返信いたします。

〔使用条件〕

\*画像データの使用用途は、本展の紹介に限ります。二次使用は禁止いたします。

\*掲載にあたっては各作品のキャプションとクレジットをご明記ください。

\*トリミングや文字載せ等の加工はご遠慮ください。

\*掲載誌（紙）を2部、当館へご恵贈ください。



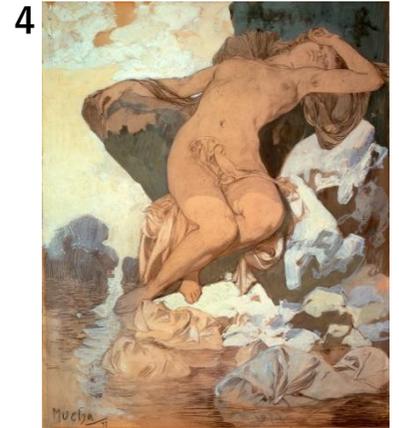
アルフォンス・ミュシャ  
《アイリス：四つの花》



アルフォンス・ミュシャ  
《ユリ：四つの花》



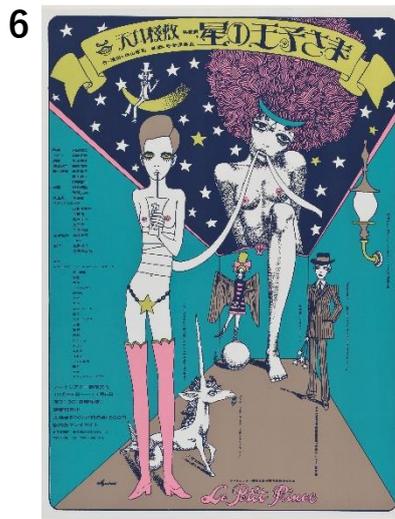
アルフォンス・ミュシャ  
《夏：四季 (1896)》



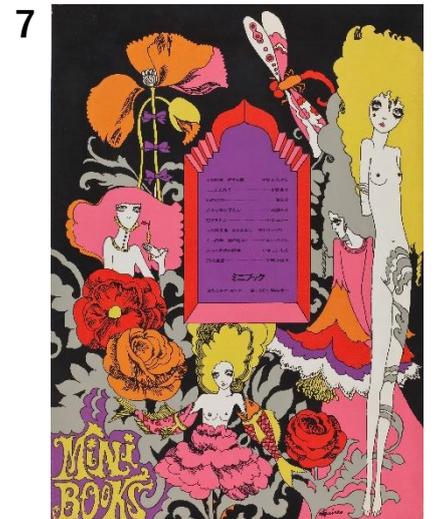
アルフォンス・ミュシャ  
《8月：暑さ (下絵)  
（『ココロコ』誌 第16号 挿絵）》



宇野亜喜良  
《『指輪の猫』原画》



宇野亜喜良《演劇実験室◎天井桟敷  
公演「星の王子さま」ポスター》



宇野亜喜良  
《「ミニブックス」ポスター》



## 画像利用申込書

FAX 072-222-6116

〔 利用情報 〕

お申込み日	年	月	日
会社名			
部署名			
お名前			
メールアドレス	@		
電話番号		FAX番号	
住所	〒		

〔 画像利用  
について 〕

画像到着希望日	年	月	日
画像の利用目的			
媒体名			
媒体種別	新聞 ・ 雑誌 ・ その他 ( )		
公開予定日	年	月	日
掲載誌(紙)の ご惠贈(2部)	年	月	日 頃予定

〔 利用希望  
画像 〕

○印	画像番号/作品名(ご明記いただくキャプション)
1	アルフォンス・ミュシャ 《アイリス：四つの花》 1897年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
2	アルフォンス・ミュシャ 《ユリ：四つの花》 1897年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
3	アルフォンス・ミュシャ 《夏：四季(1896年)》 1896年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
4	アルフォンス・ミュシャ 《8月：暑さ(下絵)(『ココリコ』誌 第16号 挿絵)》 1899年 水彩、鉛筆、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
5	宇野亞喜良 《『指輪の猫』原画》 1979年 インク、水彩、パステル、紙 刈谷市美術館蔵
6	宇野亞喜良 《演劇実験室◎天井桟敷公演「星の王子さま」ポスター》 1968年 シルクスクリーン、紙 刈谷市美術館蔵
7	宇野亞喜良 《「ミニブックス」ポスター》 1967年 シルクスクリーン、紙 刈谷市美術館蔵
	本展ポスター・チラシ画像(1ページ目掲載の画像)

